

令和6年 樽前会新年会 開催しました

令和6年1月20日(土)、苫小牧工業高等専門学校同窓会「樽前会」にとって4年振りとなる新年会を開催しました。

会場は「グランドホテルニュー王子」3階グランドホールで、樽前会本部だけでなく、遠方の札幌支部、関東支部、西日本支部からも多くの同窓生が参加しました。

本部・支部役員懇談会

新年会に先立ち16時30分から本部・支部役員懇談会が行われ、昨年の各支部の活動内容が示されました。昨年は、5月8日から新型コロナが「2類相当」から「5類」に移行したことにより樽前会の活動も徐々に復活してきました。また、本年1月1日に発生した「能登半島地震」へ義援金を送ることも協議し、了承されました。



令和6年 樽前会新年会の概要

新年会は、年に一度全国の同窓生が集まる樽前会の大規模イベントです。以前は、毎年開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を自粛してきました。今年は4年振りの開催で、この間に社会人となった同窓生にとっては初めての新年会です。今年は、同窓生、教員・教員OBの92名が参加しました。また、今年の幹事は、工業化学科で、様々な思考を凝らしての新年会となりました。

《オープニング》

ティラノサウルスレースinとまこまい

昨年8月26日（日）に苫小牧高専のフロンティアコースの学生が主催し、全国から多くの恐竜が参加し盛大に開催された「ティラノサウルスレースinとまこまい」のDVDが放映され、参加した同窓生は、学生の活躍に感動していました。



新年会スタート！

樽前会の前川芳彦会長の挨拶は、令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」により被害に遭われた皆さまへ、心からのお見舞いを申し上げ、ご家族や大切な方々を亡くされた皆さまへ、謹んでお悔やみを申し上げました。また、本年は苫小牧高専が開校60周年を迎えることから樽前会として支援してきたい旨の挨拶をしました。

ご来賓としてご臨席いただきました小林幸徳校長の挨拶は、“2023年は充実した一年だった”として近況報告があり、今年は開校から60周年を迎え、何らかのイベントを開催したい旨の挨拶がありました。





ご来賓の挨拶の後、幹事である工業化学科2期の秋山重明様の乾杯で宴会が始まりました。
(司会は、環境都市工学科6期の新美香苗さんです)

懇談中のところ写真を撮らせていただき、ありがとうございます！



皆さんが良い笑顔で、楽しんでいるのが伝わってきますね。

「樽前ばやし」を堪能

余興は、苫小牧創作芸能研究会「樽前ばやし」の和太鼓演奏が披露されました。代表は、土木工学科23期の小坂龍三郎様で、昨年、結成30年を迎えられ6月には記念ライブも行われています。



その後、各支部から活動の報告がありました。

- ・札幌支部長＝電気工学科 8 期 柿本清美 様
- ・関東支部長＝工業化学科 1 1 期 大竹秀幸 様
- ・西日本支部長＝工業化学科 1 6 期 嶋田 努 様

新年会で最後のお楽しみと言えば「応援団エール」です。工業化学科 1 5 期の仁部政浩団長の笑いを交えたエールに続いて、参加者全員で母校の校歌を斉唱しました。



閉会の挨拶、来年の幹事は土木工学科



久しぶりの新年会は、食事に歓談、「樽前ばやし」に「応援団エール」と楽しい時間を過ごし、あっという間に閉会の時間になりました。

来年の幹事は土木工学科です。2 1 期の吉田陽輔様の閉会の挨拶と一本締めでお開きになりました。

記事＝理事長 小山征三